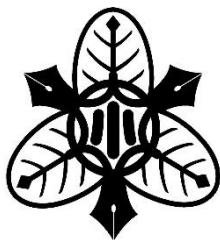


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、
夢や目標に向かって
主体的に考え行動する子供の育成

令和6年1月12日 第9号

文責： 校長 井 正成

新しい年の目標をもって 3学期のスタートです

新年あけましておめでとうございます。今年も子供たちの健やかな成長のために、職員一同で精一杯努力してまいりたいと考えておりますので、今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

新年早々に能登半島地震が発生し、多く方が被災されました。熊本地震の際のことが思い出され、複雑な思いになりました。3学期の始業式では、改めて命の大切さ、困ったときに助け合うことの大切さについて話をしたところです。

さて、3学期は、6年生は卒業式の3月21日（木）まで、1～5年生は修了式の3月22日（金）までの50日程度の短い学期となります。まさに、進学や進級を目前に控えた学年の総まとめの期間となります。子供たちの心の中には次の学年、また中学校に向けて、何らかの強い意識がきっとあるはずです。その意識を成長へのプラスの力に変えていけるよう指導してまいります。ご家庭でも子供たちを認め、褒め、励ましながらご支援していただきますようお願いいたします。

令和6年度より全学年でクラス編制替えをする方向で検討しています

本校は、全学年で通常学級は2学級編制となっていますが、これまで入学時と3、5年生の進級時に新しいクラス編制を行い、2、4、6年への進級時には新たなクラス編制（クラス替え）はせず、2年間学級集団を継続させてきました。これは、次のようなメリットを考えてのことであつたかと思えます。

- ・2年間で子供同士の人間関係を深めることができる。また、コミュニケーションが苦手な児童にとって、新しい人間関係を構築する必要性がない。
- ・同じ集団を2年間継続させることで学習規律や学習ルールの習慣化を図ることができる。
- ・担任を2年間継続させることで、子供たちの十分な実態把握ができ、個に応じた指導の充実を図ることができる。また、担任と子供たち・保護者の関係を深めることができる。
- ・指導力のある担任が2年間継続して指導することで子供たちの力を十分に伸ばすことが期待できる。

以前は県内の多くの学校で、現在の本校のように担任や学級集団を2年間継続させることが多かったのですが、近年では、子供たちの実態や環境の変化、教職員の状況の変化などから、県内ほとんどの学校で1年ごとのクラス替えを行うようになってきました。阿蘇郡市でも、通常学級を2学級以上編制できる学校のほとんどが、すでに毎年のクラス替えを実施しています。

多くの学校が毎年クラス替えをしている理由（メリット）として次のような点があげられます。

- ・毎年クラス替えをすることにより、新たな人間関係が構築できる。また、子供たちの交友関係が広がり、コミュニケーション能力の向上が期待できる。
- ・同学年の人間関係、交友関係が広がることにより、学年集団としてのまとまりを構築できる。
- ・子供たちが多様な価値観や考え、個性にふれることで、子供たちのやる気や好奇心が刺激される。また、視野が広がり、子供たちの個々の良さや可能性を伸ばすことが期待できる。
- ・同じ学級であることで生じた人間関係の課題を、クラス替えを行うことで解消することが期待できる。
- ・多くの教職員が子供たちにかかわることができ、教育効果と教育の質の向上が期待できる。

また、現行の学習指導要領には、次のような前文が示されています。

これからの学校には、(略)教育の目的および目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

これからの変化の激しい時代を生きていく子供たちには、その変化に対応するとともに、多様な他者と連携、協働しながら自分の個性や良さを発揮して豊かに生きていくことが望まれます。近年は、全国的に深刻な少子化が進んでいますが、内牧小は、まだ複数の学級が編制できることで、多くの他者と関わる機会が持てる状況にあります。そのことをメリットと捉え、最大限に生かしていくという視点も必要だと考えています。

以上のような点から、毎年クラス替えをすることのほうが、子供たちにとってメリットが大きいと考えました。また、子供たちにとってプラスとなると思われることは、少しでも早く実行したいという思いもあり、新年度となる本年4月から、これまで進級時にクラス替えを行ってこなかった現在の1, 3, 5年生を含めて全学年でクラス替えを行う方向で準備を進めていきたいと考えています。

この点については、PTA 四役の皆様には事前に説明をし、おおむねご理解をいただいたところです。また、子供たちにも今後丁寧な説明が必要かと考えています。

大きな変更でありますし、また、急なお知らせとなり、いろいろなご意見、お考えがおりかと思えます。もし、何かご意見等ありましたら学校まで遠慮なくお知らせください。

立派な門松を飾っていただきました

年明けに学校に来てみますと、体育館側の正門前に右のような立派な門松が飾ってありました。登校する子供たちも改めてお正月の気分を感じたのではないのでしょうか。

この門松は、内牧1区の方々が地域の行事として毎年製作して飾っていただいているとのことでした。昨年も地域の皆様に多くのご支援、ご協力をいただき、ありがたく感じていたところですが、あらためて地域の皆様の学校や子供たちに対する温かさを感じたところです。

いつも、学校や子供たちのために、さりげなくご支援いただく地域の皆様に感謝の気持ちを忘れずに、今後も真摯な気持ちで教育活動に取り組んでまいりたいと考えております。

